



平成22年7月15日

8面	7面	6面	5面	4面	3面	2面
視点・声・べんべん草	こどもの詩・俳句・おしらせ	ひと・すぼっと	スポーツ・情報	山岳信仰遺跡	生東環境美化	上大島歩け歩け大会
					「健康を学ぶ」上新井・名子	まつかわ寄席・まつかわ大学



まつかわ百景 ④3

朝焼けの西の空

サムライジャパンがワールドカップ決勝トーナメント進出を決めた朝、みごとな朝焼けが東西の空を彩っていました。

皆様の御理解と御協力により、6月25日の総会において全て承認され、平成22年度の活動が始まりました。

ひとりでも多くの方に参加していただく為にはどうしたらよいのか、今後の課題です。明るく住みよい町づくり参加の為に女性のやる気と元気が必要とされています。皆さん、仲間を誘って参加してみませんか。

町内のイベント、集会等へ…。きつと新しい友達が出来ると思います。

主張

町内の女性団体の輪を広げよう

女性団体連絡会も、仲間づくりを第一に考え、楽しい会にしていきたいと思っております。皆様の御協力の程よろしくお願いたします。

女性団体連絡会は以下の団体で構成されています。

婦人会、役場女性部、農村女性ネットワーク、母子寡婦福祉会、日赤奉仕団、消費者の会、農村女性マイスター、味の里まつかわ、あじさいの会、JA女性部

女性団体連絡会
会長 橋場むつみ

今年度の事業計画

- ①総会の開催と記念事業
演題：「長野県第一号、男性で育児休暇を取得しました」
講師：松本和博氏
- ②男女共同参画町づくり推進事業
 - 7月3日(土)
第1回まつかわ大学
落合恵子氏 講演受講
 - 7月10日(土)
あいとびあ男女共同参画フォーラム
 - 9月28日(火)
飯田市伊賀良公民館長 平田睦美氏 講演会
 - 1月22日(土)
男と女いきいき講座の開催
(いきいきフォーラム)
「内山二郎さんとワークしよう。」
さだまさし「関白宣言」の歌詞を分析してみよう
 - 男女共同参画推進委員会の事業への協力
 - 町議会傍聴、連絡会だより発行、女性団体の情報交換と親睦をはかる。

まつかわ寄席 古今亭菊生独演会 子どもたちの 思い出の町で

今年で9回目を数えるまつかわ寄席が6月5日に町民体育館トレーニングルームにて高齢者講座と共催で開かれ、子どもからお年寄りまで約90名の方が落語を楽しみました。今年、昨年に引き続き真打の古今亭菊生師匠が本場の落語を披露してくれました。

古今亭菊生師匠はお母さんが松川町出身で、子どもの頃にはよく当町を訪れていたそうです。今でも長野県には月に一回は訪れて高座に立られているそうです。また、精力



古今亭菊生師匠

的に全国を回られていて、今年4月の沖縄での寄席で全国47都道府県全てでの寄席を達成されたそうです。

今回の高座では、まず小噺を数本披露してくれました。その中でもいちばん有名な小噺として「隣の家に困いが出来たって?へえ〜」程度のもので落語だから、気軽に楽しんでくださいと語られてその後古典落語を2本披露してくれました。内容は、「酒が大好きな親子が断酒の誓いを立てるもののすぐに酒を飲んで泥酔してしまう」噺と、古典落語にはつき物の間抜けな泥棒が出てくる話で「泥棒がまとめた風呂敷包みが原因で夫婦喧嘩に発展する」噺でした。

みなさん菊生師匠の軽妙な語り口とさりげないしぐさに噺の中に引き込まれて笑い声をあげて楽しんでいました。

子どもや高齢者などへの想いを講演、執筆されている恵子さんが、「クレヨンハウス」という子どもの本専門店を主催されて35年。ここでは学校教育の場で使われる本ではなく子ども達が一日中でも楽しく読める本を扱っていらっしやるそう。親からの虐待で心を閉ざした少年が亡くなる前一冊の本に心開いたお話など



講師の落合恵子氏

7月2日パラつく小雨のなか町内外より250名余りの皆さんの参加を得て第1回まつかわ大学が開催されました。講師は落合恵子氏。文化放送社員で「セイヤング」のパイソナリテイーだった小さくてもかわいいいレモンちゃんとは、しっかりと自分の考えを持つ強い大人の女性となったようですが、年齢を重ねても昔のままキュートさは変わらず感激でした。

平成22年度第1回まつかわ大学 命の感受性 講師 落合恵子氏

「週刊金曜日」という雑誌で共に編集委員をされていた

恵子さんの言葉は優しいだけではありません。

「お母様は何も見えていませんよ」と言われた時も「私を見て」と

耳元で言う

とフラフラ

と迷っていた

視線が恵

子さんをと

らえたところ

か。

お母様の

お話、世の

母親達のお

話をされる

恵子さんの

言葉は慈愛

に満ちた温かなものにと変わります。ご自身も涙ぐまれ、男女問わずに我が母を思う聴き手の皆さんもハンカチやティッシュを手を目頭を押さえるのです。

お母様の

お話、世の

母親達のお

話をされる

恵子さんの

言葉は慈愛

に満ちた温かなものにと変わります。ご自身も涙ぐまれ、男女問わずに我が母を思う聴き手の皆さんもハンカチやティッシュを手を目頭を押さえるのです。

恵子さんの言葉は優しいだけではありません。

「お母様は何も見えていませんよ」と言われた時も「私を見て」と

耳元で言う

とフラフラ

と迷っていた

視線が恵

子さんをと

らえたところ

か。

お母様の

お話、世の

母親達のお

話をされる

恵子さんの

言葉は慈愛

に満ちた温かなものにと変わります。ご自身も涙ぐまれ、男女問わずに我が母を思う聴き手の皆さんもハンカチやティッシュを手を目頭を押さえるのです。



サイン本を手渡す恵子さん

もお聞きしました。又、恵子さんはお母様の介護を7年さ

れ活動を続けるなかで最後を

看取られました。その経験で

感じた事。どんな世界的に権

威のある高名な医者よりも実

際に看病して介護している者

の方が良くわかるそうです。

「お母様は何も見えていま

せんよ」と言われた時も「私

を見て」と

耳元で言う

とフラフラ

と迷っていた

視線が恵

子さんをと

らえたところ

か。

お母様の

お話、世の

母親達のお

話をされる

恵子さんの

言葉は慈愛

に満ちた温かなものにと変わります。ご自身も涙ぐまれ、男女問わずに我が母を思う聴き手の皆さんもハンカチやティッシュを手を目頭を押さえるのです。

恵子さんの言葉は優しいだけではありません。

「お母様は何も見えていませんよ」と言われた時も「私を見て」と

耳元で言う

とフラフラ

と迷っていた

視線が恵

子さんをと

らえたところ

か。

お母様の

お話、世の

母親達のお

話をされる

恵子さんの

言葉は慈愛

に満ちた温かなものにと変わります。ご自身も涙ぐまれ、男女問わずに我が母を思う聴き手の皆さんもハンカチやティッシュを手を目頭を押さえるのです。

井上ひさし、筑紫哲也両氏が亡くなられた事に触れて、「大先輩は宿題を残された。これからは力は弱くとも、私達の世代が悪い物は悪い!違うものは違う!と声をあげていかなければ」と言われました。

滑舌良く豊み込むように話され小柄な身体が前へ前へと出てくる様子に思わず「そのとおりです!」と拍手してしまっ

まいそうでした。

時おりCDから流れる洋楽の歌詞を訳して語られたり、ご自身が本にされた詩を朗読されたりと、まばたきも忘れるようなあつという間の時間でしたが、これも恵子さんの語りの持つ力だと思えます。

マスコミは封筒だから多くを持って選択して使いたい、とおっしゃる恵子さん。これからはテレビ・ラジオなどでお話しを聞けることでしょう。

日常的に続けられるものを

上新井地区公民館 第27回健康問題研究会 「ウォーキング講座」

6月5日(土)に酒井浩文さんを講師にむかえ第27回健康問題研究会「ウォーキング講座」が行われました。

はじめに町の保健師の松尾さんから町の健康実態から糖尿病について説明がありました。

酒井さんのウォーキング講座ではまず靴の選び方、履き方を教わりました。試し履きをしてフィット感を確かめる、かかとに合わせて履くなど足を痛める原因とならないような選び方履き方が重要。

今の筋肉量より落ちないように、今より少しでもよみがえらせるよう、スクワット、腹筋、背筋などの筋トレ、血行がよくなるよう足のストレッチなどを体験。



講師 酒井浩文さん

「1日では結果は出ないの(継続は力なり)」と言いますが、少しずつでも日常的に続けていくと体は変わって



ノルディックウォーキングを体験

ウォーキングは日常生活で一番簡単にでき軽い負荷で長時間できる運動。有酸素運動で代謝もよくなり姿勢もよくなる歩きの質にこだわった

ウォーキングを体験しました。

最後に、ノルディックウォーキングという陸を歩く時に使う道具を使った歩き方を教わりました。南信はまだ少ないが東北信では盛んになってきており、上半身を使い脂肪の燃焼につながると思います。初めて体験する方が多いよう会場を何度も往復していました。

る。山あり坂ありの町のロケーションを生かしたスポーツをしたり、スポーツを通して仲間作りをしてコミュニケーションをはかってほしい」と話されました。

名子健康学習会では、昨年に引き続き、インターバル速歩を体験学習しました。

育成会との共催ということで、冒頭では役場保健福祉課の北澤保健士より「子どもはどのように発育発達していくのか」お話がありました。子どもは10歳で運動神経、12歳で持久力が完成するそうです。喘息など肺の機能にかかわる病気の予防のためにも、大人も子どもと一緒にできるインターバル速歩にぜひ取り組んでください、とのことでした。



それぞれのペースで楽しく!



子どもは疲れ知らず 元気いっぱい

インターバル速歩で 無理なくメタボ改善しよう!

名子区健康学習会

毎年参加のベテランに加え、「毎日1時間歩いているがインターバル速歩は初体験」という参加者も。講師の山下博和さん(NPO法人熟年体育大学リサーチセンター)の指導の下、正しい姿勢でウォーキングに取り組みました。

まず、普段歩いている速度で1分から2分程度歩きます。次に普段より少し速度をあげて2〜3分歩きます。運動強度の目安は「ちよつと息がはずむが笑顔が保てる程度」です。これを数回繰り返します。大人も子どもも、それぞれの



さて運動の効果は出たかな?

ペースで歩きます。疲れてくると、姿勢が悪くなりがちなので、正しい姿勢を常に意識して歩きましょう。今年も、参加者の代表約10名が運動量測定器を着用して歩きました。万歩計に速度・気圧・脈拍センサー機能が付いた装置です。運動終了後、講師の石川忍さん(キッセイウェルコム(株))により、参加者の実測データの解説が行われました。参加者一同、プロジェクターに映し出されたグラフを見て運動の効果を実感しました。大人の「健康増進・メタボ改善」、子どもの「健全な発育発達」のために、参加者各自、学習を生かす取り組みが日々続いていくといいですね。



青竹を使って炭火でバームクーヘン作り。上手に焼けるかな

く、ウォークラリーを楽しみました。険しい山道に苦戦しながらクイズの問題の答えを求め、川の温度を計ったり、子どもも大人も、制限時間も超えて、ゆっくり散策する事が出来ました。今年には各自お弁当を持参し、森の中の木陰でランチタイムを楽し

みました。その後、事前に青年の家の方に指導して頂いた公民館部員が中心となって、バームクーヘンを焼きました。まず、炭をおこして竹をあぶり、生地をかけ、火の上で竹を回しながら焼いていきました。子どもたちは、「メラメラと燃える炭火に、「熱い！熱い！」と、大騒ぎしながらも一生懸命竹を回して、お店に並んでいるような、輪郭のはつきりとしたおいしいバームクーヘンが出来上がりました。みんなで出来上がったバームクーヘンを食べて、終了しました。初夏の新緑の中、穏やかな1日を森の中で親子や地域の方達とゆつくりと過ごすことが出来、良かったなあと思いました。

「これから石橋から丸ぼっきまでの県道のゴミ拾いを行います。子ども達は車には気をつけて下さい。また、大人が声を掛け合って、安全に気を配って下さい。」ここに捨てられていたゴミのほとんどは、ここを通った車からのポイ捨てで、無神経な大人の出したゴミですが、自分たちの暮らしている地域を美しくするには、自分たちの大切な役目です。今年、公民館社会部の方々にも参加して頂きました。今日は、どうぞよろしくお願ひします。」簡単な挨拶の後、石橋



みんなでゴミの分別

ウォークラリーで散策楽しみ

おいしいバームクーヘン作り

上大島公民館歩け歩け大会

上大島公民館体育部長 竹村 隆



6月13日(日)に、上大島公民館、育成会共催で、松川町青年の家にて歩け歩け大会を行いました。梅雨に入り心配されていた雨も降らず、無

事開催することができました。地域の子ども、親子など、数十名の方に参加いただき、午前中は青年の家の周りを中心に、遠くは桜山神社まで行

きままでの県道のゴミ拾いを行います。子ども達は車には気をつけて下さい。また、大人が声を掛け合って、安全に気を配って下さい。」ここに捨てられていたゴミのほとんどは、ここを通った車からのポイ捨てで、無神経な大人の出したゴミですが、自分たちの暮らしている地域を美しくするには、自分たちの大切な役目です。今年、公民館社会部の方々にも参加して頂きました。今日は、どうぞよろしくお願ひします。」簡単な挨拶の後、石橋

ポイ捨てされない環境づくり

生東公民館 主事 遠藤 健二

やっぱり、タバコの吸い殻、空き缶、コンビニ弁当の容器が今年も目立った。

6月20日の朝、生東地区の子ども会と公民館が協力して『環境美化ゴミ0運動』を行った際のゴミの内容である。

「これから石橋から丸ぼっきまでの県道のゴミ拾いを行います。子ども達は車には気をつけて下さい。また、大人が声を掛け合って、安全に気を配って下さい。」ここに捨てられていたゴミのほとんどは、ここを通った車からのポイ捨てで、無神経な大人の出したゴミですが、自分たちの暮らしている地域を美しくするには、自分たちの大切な役目です。今年、公民館社会部の方々にも参加して頂きました。今日は、どうぞよろしくお願ひします。」簡単な挨拶の後、石橋

と丸ぼっきの二手に分かれゴミを拾って歩いた。1時間ほどで、集合場所の中山自治会館へ到着。拾ったゴミをみんなで分別して終了。タバコや空き缶などは、そこそこあったが、例年より減っている感じがした。県道が整備されるにつれ、道路際がサッパリして来ているせいだろうか。美しく整備された場所にゴミを捨てるのは、さすがにポイ捨て常習犯の心も痛むのだろう。

上片桐の山岳信仰 遺跡を訪ねて

編集部 光澤 正之



険しい道をかきわけて…

があったことを示す遺跡があると聞き、資料館や地元の方たちと共に調査に出かけた。

調査とはいえ、全く山のことを知らないため、地元の人にいく度となく登り、山のことは詳しい上町の湯澤孝仁さんに案内していただいた。

山岳信仰とは

山そのものを御神体として崇拜し、五穀豊穰・無病息災などを祈る山岳信仰。江戸時代には広く信仰され、当町には富士山信仰や御嶽山信仰などが代表的なものとして残されている。

いざ調査へ

上片桐にある清泰寺せいたいじの山号にもなっている「高原山」は、富士山信仰の山として崇められてきた。清泰寺の正面に見え、形の整った山である。今回、その頂上に富士山信仰

身を清める場所

山の麓に着くと、「お滝場」という場所があった。昔は、神である山に入る前には身を清めるといふ風習があり、身を清めるための滝があるのが「お滝場」であったようだ。実は、高原山のさらに一つ奥の山は御嶽信仰の御嶽山があり、御嶽山の登り口には「お滝場」がよく見られるという。ここには、富士山信仰と御嶽山信仰のどちらも存在していた。

『富士山』はあるのか

高原山はさほど高い山ではなく、歩いて1時間ほどで頂上にたどり着いた。高原山は「富士山信仰の山」と聞いてきた。本物の富士山を拝むことは簡単にはできないため、「地元の富士山」としてまつられた山である。富士山信仰の場合、富士山をかたどった小さな山（盛り土）があることが多いそうである。そのため、高原山の頂上にも富士山をかたどった山があるのではないかと想像を膨らませている。



富士浅間大神などの名が彫られている

た。頂上を見渡すと、残念ながらそれらしい山は見当たらなかったが、富士浅間大神をはじめとする4神の名を彫った石塔がまつられていた。こ

ちらでは、高原山そのものを富士山として崇めていたと推測される。



御嶽大権現を中心に神々がまつられている

今も残る御嶽山

富士山信仰の高原山をあとにし、さらに奥の山、御嶽山に向かった。御嶽山も、普段は本物の御嶽山を拝むことができないため「地元の御嶽山」としてまつられたところである。御嶽山に到着すると、意外にも広くきれいな場所に整然と神々がまつられていた。中には御嶽大権現。そして、両脇には、御嶽信仰の開祖である覚明行者や養蚕の神である蚕玉様など10体もの石塔が

並んでいた。中心にある御嶽大権現の社は、浅間山大爆発20年記念として昭和58年に上片桐区会によって建て替えられていた。

「旧地」にお参りを

今では地元の人々ですらほとんど行かなくなつた場所だが、完全に忘れられたわけではなく、今も管理され、一部には信仰が残っていると感じられた。

上片桐の「富士山」「御嶽山」は、現在は片桐神社に合祀されている。山に登らずともお参りできるようになったが、元々あった場所は今も大切に残されている。



帰り道で「不動明王」の石造物を発見

祝！県大会優勝！！ 空手の道を全国へ

5月1日松本総合体育館にて開催された(社)日本空手協会の長野県大会で、松川町の小学生2名が各部門で優勝を果たしました。

小学4年女子 組手の部
優勝 大石美愛^{みあ}

小学6年女子 組手の部
優勝 秋廣はづき

(2つの部門で優勝)

優勝を勝ち取った2人は、7月31日・8月1日に福岡市のマリンメッセふくおかで開催される同協会の全国



大会に長野県代表として出場します。その後、8月7・8日に東京武道館にて開催される「少年少女空手道選手権大会」にも長野県代表として出場します。両大会での健闘をお祈りいたします。

毎週火曜日の6時30分より町民体育館柔道場にて、伝統武道としての空手に真剣に取り組んでいます。道場では正しい姿勢、あいさつ、返事を大切に行っています。子どもだけでなく、保護者の方も数名、共に鍛錬しています。

「平安初段」を始めとする空手の型を身につけるためには体だけでなく頭も使います。まさに「文武両道」です。入門随時受付中です。希望の方は指導者の秋廣哲次先生までお電話下さい。
電話 0265-3615653

★ABC情報報

本館行事

〈人形劇場〉

期日 8月8日(日)

会場 町民体育館

時間 午前10時〜

劇団 ザパリ研究所

内容 「オドルトギ」

〈松川町成人式〉

期日 8月15日(日)

会場 町民体育館

時間 2時20分〜受付

該当者 平成元年4月2日〜平成2年4月1日

生まれの松川中学校卒業者及び町内在住者

〈第1回高齢者講座〉

期日 8月23日(月)

場所 町民体育館

時間 午後1時〜

内容 輪投げを楽しもう

講師 公民館職員

〈町民ゴルフ大会〉

期日 8月22日(日)

場所 高森カントリークラブ

内容 ゴルフ

〈ファミリー登山〉

期日 8月28日(土)

〈まつかわ大学〉

期日 8月29日(日)

場所 町民体育館

時間 午後1時30分〜

内容 「意外と知らない？病

気と健康の話」

講師 東京文化大学学長

中原英臣氏

〈なかよしクラブ〉

(第1回)

期日 8月3日(火)

会場 むらやま公園

内容 川遊び

(第2回)

期日 8月17日(火)

会場 おひさま

内容 親子でカレー作り

町内あちこちで熊が…

このところ、松川町や近隣町村で熊の出没情報が寄せられています。

公民館編集部では、なぜ熊の出没が多いのか調べたいと考えています。詳しい方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

松川町公民館

電話 36-2622

出沒情報(役場産業振興課調べ)

6月5日 間沢

6月11日 柄山

6月13日 桑園

8月14日 大沢北部

6月15日 桑園・大沢北部

ありがとうございます



松川家具センターさんから車椅子を寄贈していただきました。
町民体育館で使わせていただいております。



文化系団体に活躍の場を…

「マーくん週刊らいぶ 松川町で生を楽しむ」
主催 山地 道 信さん

松川町は体育系の活躍が目立つが、文化系でも頑張っている人がいます。しかし、松川にはスタジオなど集まる場

が無く、活躍や拠点を移してしまうとの事。

一昨年、商工会の企画もあつて、松川でジャズライブを開催、若者向けに

企画した所年配の方にもうけて

大好評で昨年はジャズも含め4

団体となりまし

た。そして「マーくん週刊らいぶ

松川町で生を楽しむ。」が企画さ



山地道信さん

この研修会は年1回の開催

で、北・東・中・南信の地区を順番でまわっています。今

回は南信でも飯田市内だったので参加しました。

すぽっと

より良い公民館報を

主事補 松下 聡

6月19日(土) 飯田市竜丘公民館において、長野県公民館運営協議会の主催による、公民館関係者研修会が17名の参加で開催されました。始めに信濃毎日新聞社の津金直行さんの『住民に親しまれる新聞づくり』

という講演を聞き、続いて①館報持ち寄り談義、②公民館報の意義と役割、③わかりやすい紙面づくり、④効果的な写真の撮り方の4つの分科会に分かれての日程でした。



れ10月に行われたそうです。今年も、10月から行う予定で動き出したそうで、今年も新しい事に取り組んで行きたいとおっしゃっていました。毎年同じ事を開催するだけでも大変なのに、新しい事に取り組む意味としては、企画する事が義務的になってしまい、自分のやりたい気持ちで薄れてしまうそうで、今年も新しい団体に声をかけているそうです。

また、ライブ以外にも、ダンスやアートの人が集まれる場や情報交換の場を作っていく価値を上げていきたいそうです。

『住民に親しまれる公民館報』になるように、編集部員で努力していきたいと思いましたが、

こぶしの詩

カエル

東小4年 市岡麗奈

「ゲコゲコゲコ」
あつカエルが鳴いて

いる
「ケルケルケルケル」
あつシユレーゲルアオガエル

がこうびをしている
「ゲーコゲーコ」
あつガマガエルが

エサを食べた
「クエックエツ」
カエルつてかわいいな

「ゲコゲコ」
あつシユレーゲルアオガエルの

たまごがある
カエルの鳴き声がか

きようしつにひびいている
カエルは元気

私も元気

木

東小4年 橋場和樹

木が仲間といっしょにいる
雨が降ると

木はいつせいにため息
大丈夫かな

何があったの？
とても晴れた日には

木は笑う
前のことがうその様に

笑う
体を揺らして

元気
元気
いつまでも元気な木

俳句

青田風

鋤柄郁夫(宮坂)

ホームレス「ロダン」の如き炎暑かな

子雀のはずんで仏飯待ちてをり

青田風花道のごと農夫くる

現世うつしよを透かしてみせる網戸かな

雷雲を出て雷雲へセスナ消ゆ

おわび

先月号の7面「すぽっと」欄で掲載に誤りがありました。

以下のように訂正してお詫び申し上げます。

(誤) 日本第1号が木曾町妻籠に設置されました。

(正) 日本第1号が南木曾町

妻籠に設置されました。

読者の方から、あたたかいご声援を添えてご指摘いただきました。ありがとうございました。

ございました。



町の古民具 ⑤⑧ たねがみ さんしゅぼこ 「種紙と蚕種箱」

蚕の卵が生み付けられた厚紙を種紙といい、これを購入し孵化させ育てた。蚕種箱は種紙を入れた箱。



道端で、たくさんのカタツムリを捕まえたり、また尻尾がついているカエルを見つけたりしながら歩き続けました。長い距離を歩くため、万が一に備えて救護車も待機していました。幸いなことに、みんなそろって大草城址公園に到着しました。



「カタツムリ見つけたよ」
雨の日ならではの出会い



大草城址公園では疲れも忘れて遊びました

室内でレクリエーションを楽しみました。雨天のため、途中で予定を変更しましたが、今回の本目的の地はとある山の頂上でした。9月に、本目的の地に再挑戦を計画しています。

雨宿りしながら、持つてきた昼食を食べ、それから公園で遊びました。カタツムリに草を食べさせたり、カナヘビというとても素早い生物を捕まえてきた仲間もいました。午後は中央公民館に戻り、

声

松川ネイチャーキッズ どこまでも歩いているこう

6月26日(土)、松川ネイチャーキッズのメンバーは朝から降り続く雨の中、中央公民館を出発しました。だいぶ着慣れた合羽姿で「目的地」を目指します。

新井の街を抜け、藤森の交差点を渡り、片桐松川沿いの坂道を降りていきます。天竜橋を渡れば、もうお隣の中川村です。



ほくらの町はあつちかな…
中川村渡場にて

渡場の交差点をすぎると、くねくねと続く上り坂になりました。雨が降っていて気温

はさほど高くありません。けれども合羽を着て歩き続けると蒸し暑く、汗をたくさんかきます。こまめに水を飲みながら進みました。



初めての風景
どこまでも歩いていくよ

高台から、松川の方角が見えました。霧や雲でぼんやりとしていますが、役場や学校らしき建物が見えました。上り坂はだんだんゆるやかになり、平らな一本道になりました。雨は続いています。

雨宿りしながら、持つてきた昼食を食べ、それから公園で遊びました。カタツムリに草を食べさせたり、カナヘビというとても素早い生物を捕まえてきた仲間もいました。

2022年

2010年サッカーワールドカップ、サッカーに興味がない方も連日のTVやラジオで日本代表の戦況を耳にする事もあったのではないのでしょうか。

正直私も、ルールや出てくる選手もわからない上、まったく興味がなかったもので、前大会までまともに見た事がありませんでした。だから今回も...と思っていたら友人に「サッカーに行こう!」と誘われ、お祭騒ぎを味わいに松本まで出かけて行きました。

店内は若いユニホームにフェイスペイントの人や立ち見のサラリーマンでこたえ返す中、友人の予約したスクリーン前のご真ん中の度に申し訳なきにちよこんと座り、ただただ大きなスクリーンに目をやるばかりでした。運ばれてきたお酒をくびくび飲みながらいつの間にか始まった試合を眺めながら見えていました。が、10分後には胸の前で手を組みハラハラしながら格闘技とマラソンを合わせたような激しい攻防戦にすっかり夢中になってしまいました。その後は全試合生中継で観戦しスपोर्टニュースもしっかり見るほどのハマりっぷり。(笑)

日本チームは決勝リーグ初戦をほんの紙一重で敗れてしまい、けしてハッピーエンドではありませんでしたが、まるで青春ドラマのような感動を与えてくれたの言うまでもありません。

毎回、賛否両論ありますが試合結果よりもその奥にある人間ドラマが人の心を動かしているような気がしました。(久保田さち子)

公民館報
「まつかわ」
第 561 号
平成22年7月15日

発行所 松川町公民館
責任者 塩澤 三佳
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)